

職場の目「第二新卒≒新卒」をぬぐい去れ／お金か時間か、20代が人生決める

# 日経キャリア

MAGAZINE

日経キャリアマガジン

2007  
CAREER UP  
8月号

定価550円(税込)

巻頭メッセージ

春風亭小朝

旬の人

松山ケンイチ

社会人大学院の  
VIPな人脈力

夏の夜 ビジネス脳は眠れない!?  
大人のゲームを極める

使えない第二新卒と呼ばせない!

ストップ! ハンパ君

20代の仕事が人生を分ける!

お金と時間  
「見える化」計画

# 社会人大学院 ネットワーク構築講座

## 拓 期 編

これまでの事例から、社会人大学院はビジネスに役立つ人脈の宝庫だということが分かった。ここでは、実際に出会った人脈を最大限に生かすための方法を紹介していく。

### 人脈作りは大学院選びの段階から始まっている

人脈の構築は、大学院選びの段階ですでに始まっていると語る庄司祐子さん。「ひとくちにMBAと言っても、大学院によって集まる人材のカラーが異なります。学校によっては、「なるべく多くの業種・業界の人材が集まるようにする」「IT系に特化する」「起業を目指す人を積極的に入学させる」など、意図をもって学生の選抜を行っているところもある。人脈重視で大学院を選ぶ場合、注意が必要です」

そうした情報は、事前に説明会などで確認しておくといいたい。次に、入学後の人脈作りのノウハウについて聞いてみた。

### 「1年目の授業は多めに受けること」

「授業で、ほかの学生がブレゼンテーションを行う際に、「この部分では、自分の会社や仕事と関連させることができるのでは」などと考えれば、相手に意見を述べられますし、それをきっかけに履修後も情報交換ができるでしょう。あとは、かなりの労力が伴うのですが、メーリングリストを作るなどして、クラスや同期学生のまとめ役に立候補してみるのも有効」

「授業で、ほかの学生がブレゼンテーションを行う際に、「この部分では、自分の会社や仕事と関連させることができるのでは」などと考えれば、相手に意見を述べられますし、それをきっかけに履修後も情報交換ができるでしょう。あとは、かなりの労力が伴うのですが、メーリングリストを作るなどして、クラスや同期学生のまとめ役に立候補してみるのも有効」

### 「1年目の授業は多めに受けること」



NPO法人MBAキャリアデザイン研究代表理事 庄司 祐子さん  
青山学院大学文学部卒業。日経経井株勤務の後、外資系企業で経理。04年立教大学大学院ビジネスデザイン研究科を修了。06年より、キャリア・コンサルティング事業を営むセドナを設立。NPO法人MBAキャリアデザイン研究所代表として、MBA取得者の支援も行う。

「人脈づくりの機会を授業を中心に広げる  
ゼミ合宿や飲み会など、授業以外にも人脈を作るチャンスは多い。しかし授業で知り合う人脈は、これらに比べ圧倒的に多い。人脈作りには科目選択は重要だ。」



社会人大学院修了生・在校生 100人アンケート

社会人大学院で見つけた仕事に役立った人脈ベスト5

- 1 ゼミ・クラスの学友
- 2 講義を受けた教授
- 3 論文指導の教授
- 4 大学関係のセミナー
- 5 講演会などで知り合ったビジネス関係者

※調査対象については、P.62を参照。

### 「1年目の授業は多めに受けること」

最後に、学生の職業や年齢構成が多様なMBAにおいて、20代半ばから30歳という年齢の人が気をつけるべき点を聞いた。

「自己主張をするのは構いませんが、あまり我を張るべきではないようにしましょう。様々な意見をきくばらんに聞けるのが大学院のいい所でもあるのです。また、進んで難用を引き受けるなどすると、好感を持ってもらえると思います」



「専門外の科目も積極的に履修する  
あえて自分の専門外の科目を履修し、そこで作った人脈によって弱点を補強する事も、「記事を考えているが、金融や人事などは分からない」といった人にお勧め。」

## 授業時間外のチャンスも生かす 同窓イベントで「タテ人脈」を作ろう!

人脈作りの機会として要注目なのが学内の同窓イベント。クラスメートだけでなくOB・OGとの交流も盛んに行われている。

### 金沢工業大学大学院 KIT虎ノ門サロン

イベント概要  
内容/各専の著名人を招きディスカッションを行う 対象/在校生、OB/OG。(紹介があれば外部参加も可) 場所/虎ノ門キャンパス 参加人数/約20人 日程/月に1回程度、19:00から2時間ほど。

おっ! 机にはレジュメと軽食が



あらかじめレジュメと軽食が用意され、到着した人から度についていく。本日の講師は、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)で活躍中の橋本正洋氏。

### イノベーション論のスペシャリスト 橋本正洋氏の講演



講演内容は「テックノル・イノベーション・システム論」。「今後の仕事に関係があるので、講演後にNEDOの活動状況などについて、お話を聞きました」(OG・MSさん)

### 終了後は近況報告もかねて OB・OG同士で情報交換



「期が違っても、大学のイベントの準備などしているうちに親しくなりました」(OG・村木紀子さん)。この場にはいない別のOBが結婚した話などで盛り上がることも。

### 開催は年3回程度 規模は年々とも拡大

同窓会は、現役生・修了生で、タテの人脈ができる機会。「私の学んだ立教大のMBA課程では、1期〜6期を合計すると約600人ほどの学生がいます」(P.72・庄司氏)との声もあり、歴史を重ねることにその規模は大きくなる。

「運営の形だが、今回、取材した金沢工業大学のように、学校側が専門家を招いて講演を行うケースもあれば、学生の自主的な企画で、現役生や修了生が発表を行い、その討論をすることもある。

テーマは、MBAならマーケティングやファイナンスなど、大学で学ぶ内容に沿ったものになる傾向が強いが、多摩大学のように、修了生のビジネスプランの発表が行われたり、交流会としてワインセミナーが開催されることもある。いずれにせよ、講演・発表後は、懇親会へ移行するのが一般的だ。



# 学びの経験が結束を強める MBAイベントで「ヨコ人脈」を作ろう!

大学院の枠を越えた交流の場として、MBAなどの専攻別のイベントがある。同じ分野を学んだという親近感も手伝い、向学心旺盛な学生同士の話題も豊富な。

## MBAネットワーク21 日中ビジネスネットワーク

http://www.mba21.net

**イベント概要**  
内容/国内の10近い主要MBAの現役生・修了生を対象とした交流会で登録者は約730人。分科会の1つに「日中ビジネスネットワーク」がある。対象/MBAホルダーや中国人留学生や中国進出を考えている人など。場所/東京・銀座が多い。人数/30人前後 日程/月1~2回ほど。

## 中国ビジネスの専門家による パネルディスカッション



中国物流の第一人者、白土茂雄氏(写真・右)と中国鉄路のコンサルタントとして有名な孫向東氏(写真・左)。中国ビジネスを熟知する2人のパネルディスカッションだ。

## 質の高さが求められる 「ヨコ人脈」のイベント

学内での交流がタテなら、学外のつながりは「ヨコ人脈」。「MBAネットワーク21」は、その中でも規模が大きいものだ。イベントの開催頻度は年3~6回ほど、内容は著名人の講演が多い。日中ビジネスネットワーク代表世話役の森谷一郎さんによれば、「MBAホルダーは仕事で忙しい、

## メーカーや広告代理店など 社会人大学院生以外の参加者も



この日の参加者は約40人。日本人の社会人学生、中国人留学生のほか、大学の広告代理店や電機メーカーなど企業からの参加者も、移動がきょうくつになるほど盛況だった。

## 起業を志す中国人留学生と 香港上海銀行の男性が談笑



「中国に進出する日本企業と、日本に進出する中国企業のコンサルティングを行う会社を起業したい」と、田本篤さん(写真左)。右は、香港上海銀行で商品開発担当の橋本友成さん。

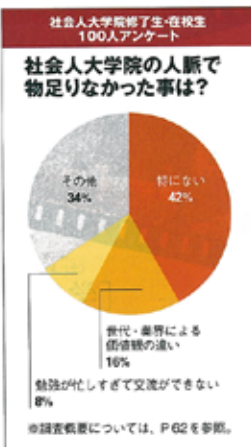
## 参加の決め手は講師の実力 顧客候補を探す学生も

最後に「日中ビジネスネットワーク」参加者の声を紹介しよう。「MBA関連のメーリングリストで知り、参加しました。徐さんが講師というのが決め手でした」(コラド MBA中退、阿部太郎さん)。また、起業の仲間を見つけにきた中国人留学生・田さん(写真一番下・右)の姿もあった。

言い合うことができる空気があることも利点の一つです。2年間、苦楽を共にした仲間だからこそ、そんな関係になれるでしょう。最後に、ビジネスを離れた意外な人脈の話も聞けた。

「会話を進めていくうちに、共通の趣味を発見して、一緒にコンサートに行ったり、DVDの貸し借りをしたりといった、友人としてのつながりもできます。また、私の経験では、若い独身男性に、年上の学生が知人の女性を紹介し、見事に結婚に至ったケースもあり

ました。MBAは30代前半から半ばの男性が多く、独身者も少なくありませんから、不自然なことではないと思います。修了後においても、仕事からプライベートまで、多様な人脈の広がりが期待できそうです。



「時間とお金を掛けて参加したのに、1人でポツンとしている状況を避けたいという心理が働くため、誰が来るのかを気にする学生が非常に多いです。自分が幹事になったときには、「〇期のメンバーが多い」などと、参加する顔ぶれ」

「同級生たちの『その後』のキャリアを追い」  
実際に、大学院を出た後に、在学中の人脈をもとにキャリアアチェンジを果たすケースは少なくない。「MBA時代の友人の、さらに友

人とのつながり起業した例や、修了後に声を掛けられ上司と部下の関係になることなどがあります」かつてのクラスメイトたちの、大学院修了前と後の、状況の変化に注意することも心掛けたい。

## 「幹事の顔ぶれが同窓会の参加者数を左右することも」



参加者は?  
人数は?  
幹事は?

**人脈維持のコツ②**  
幹事になったら、積極的に情報公開を!  
人脈維持の貴重な場である同窓会。自分が幹事になったら、会のテーマや参加人数の情報を積極的に公開しよう。「知っている人がいなければ行かない」という人も意外に多い。

## 維持期編

### 「維持する」だけでなく「広げる」姿勢が大事

続いては、築いた人脈を大学院修了後に、いかに保つていくかという「維持期編」だ。

「当たり前のことかもしれませんが、ママにコンタクトをとるというのが最善の方法です。目安は2~3カ月に1度会うくらいでしょうか。『例えば年に2~3回、5月と10月に必ず同窓会を開く』など、ある程度ルール化し、その他は有志で自由に来るようになると、顔を合わせる機会を多く設けることができます」(庄司さん)

「勉強会や学会に顔を出し、現役学生や外部との交流を、卒業後も絶やさないように積極的に動くこと」です。修了後も無料で授業を受けられる制度を利用したり、SNSを使ったり、といった方法も考えられます。また、学生同士の人脈をつなげることに熱心な教授もいらっしやいますので、そうした先生に頼ってしまうのもいいかもしれません」

「『維持する』だけでなく「広げる」姿勢が大事」

クラスメイトと定期的に顔を合わせるのも修了までの短い期間。せつなく築いた人脈を終わらせてしまうのはもったいない。修了後の関係を良好に保つためのコツを学んでいこう。



### 人脈維持のコツ① 2、3カ月に1回はコンタクトをとる

こまめにメールや電話のやりとりをしつつ、実際に会う機会を2、3カ月に1回は設けたい。大学院側の用意したイベントがあるなら、それらうまく利用する。